

研修会報告

令和元年 12 月 2 日

文責：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

研修会テーマ 細胞診の基礎と顕微鏡実習

開催日時 令和元年 11 月 30 日（土）9：00～16：45

会場 東北医科薬科大学 福室キャンパス 病理学実習室

司会：東北医科薬科大学病院 佐藤正樹

9:00～12:30 「試験（スクリーニング、同定）」

13:30～14:00 「答え合わせ」

14:00～15:00 「低正解率問題、希望問題の講義形式での解説」

15:00～16:45 「問題鏡検とマンツーマン解説」

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 10 名 非会員参加者 2 名 実務委員（講師）7 名 計 20 名

内容

昨年までの「細胞検査士資格認定試験二次試験対策研修会」を「細胞診の基礎と顕微鏡実習」とテーマを変更し開催した。今回も細胞検査士認定試験受験予定者を中心に二次試験対策研修会を行った。会場は東北医科薬科大学 福室キャンパス 病理学実習室を借用した。出題は昨年同様に学部員や県内施設に協力を仰ぎ、全 5 施設からスクリーニング問題 30 題、同定問題 43 題を提供していただいた。

今回は受講者 15 人を参加上限としたが、12 人から受講希望があった。参加者の内訳は宮城県 6 名、青森県 1 名、秋田県 1 名、山形県 2 名、福島県 1 名、栃木県 1 名。二次試験受験者は 11 名であった。研修会は 16 時に終了予定であったが、会場は 17 時まで借りていたため受講者は熱心に時間ギリギリまで鏡検を続けていた。

実習指導員は 1 名入れ替わりがあった。今回で三回目を迎えたが次第に運営方法が確立されてきたと考える。会場となった東北医科薬科大学は設備環境が整っており、顕微鏡台数の充実やモニター付きの顕微鏡などは非常に有効に使用することができた。提供された問題や解説も良質なものであった。例年同様、昨年までの受講者からアンケートを取り、不足部分や希望、試験の傾向などの聞き取りを行い、研修会の内容の修正を行っている。また、当日中の回答分析によって受講者全体の弱点や傾向を把握して解説することは問題の質の見極めや、データを蓄積していく方法は非常に有効な事である。前回よりもブラッシュアップされた非常に質の高い内容の研修会を開催することができたと考える。

今回は顕微鏡台数が充実していたため、試験とほぼ同様の環境でシミュレーションできた事は受講者にとっても有益になったと考えられた。

今回の研修会を通じて受講者の試験の合格に手助けとなれば幸いである。